



あげかんだより NO.19



令和6年6月28日

上尾市医師会上尾看護専門学校
発行責任者校長矢部彰彰久



43名の新入生を迎えました

矢部 学校長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ここに43名の新入生を迎えることができました。新入生の皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

本校の教育理念は『人々が健康な生活を営むために必要な地域医療の担い手として活躍できる質の高い看護師を育成する』です。この教育理念のもとみなさんは一人前の看護師になるべく、教育、指導を受けていくことになります。看護師になるためには最終的には、看護師国家試験に合格しなければなりません。当校は埼玉県内でもトップの合格率を誇っております。これは、現場の教員の熱意もさることながら、一人ひとりの努力なしには達成できません。これも一つのよき伝統になります。皆さんも先輩たちにぜひ続くようにして下さい。

さて、みなさんにお願いが二つあります。一つは挨拶です。人に会ったら「おはようございます」「さようなら」「よろしくお願いします」簡単なことです。自分の存在を相手に伝えるために、言われた方は必ず答えてくれます。人と人との基本的な関係が生まれてくると思います。苦手な人ももちろんいます。最初ははっきりしなくても、小さな声でもかまいません。学生なのでここで練習して医療現場にでる頃には思いを伝えられるようになって下さい。

もうひとつは、失敗を恐れない。ということです。人生なのでうまくいく時もあれば失敗することもあります。失敗を恐れて何もできないということがないように、たとえ失敗しても何とかそれを越えるよう努力して下さい。うまくいかない時やダメそうな時は抱え込まないで他の人を頼るようにして下さい。これからは先生に相談するのも一つです。すぐに答えがでなくても答えに近づくことができるようになります。本校の特色として、社会人を経験してから看護師を志す学生も多く在籍しています。幅広い年代の学生たちが共に学ぶことができるというのは大きなメリットと考えています。学校ではありますが一つの社会です。色々な人がいるのが当然であり、教育方針にもある「個人においては人間性を培うこと」ができるものと信じています。これを大いに利用して人との接し方や幅広い考え方を身につけるようにして下さい。2025年には団塊の世代800万人が75歳以上つまり後期高齢者となります。日本全体としては超高齢化社会を迎えようとしていますが、そのありようは地域によって大きく異なります。住み慣れた場所での生活を望む高齢者が増加し、地域での医療連携の重要性が指摘されています。そのような社会ニーズに応えられるように、その地域に根づいた看護教育が求められており、まさに「地域住民の健康増進・社会福祉の担い手の育成」の実践であります。みなさんはこれから社会に求められる人材となっていきます。そのハードルは高いかもしれませんが、達成できるように教職員一同努力していきたいと思っています。





キャリア入門

セルフコミュニケーション講師

多賀久子先生

セルフコミュニケーションとは自分とのコミュニケーション

人との関わりの前に、まずは自分との関係性を育てていくことがこれからの医療現場を担う私たちにとっても大切です。看護師は患者さんやご家族をはじめ、医療チームのメンバーの橋渡しの役割を担っていて、対人関係力がとても大切。それゆえ人間関係にまつわる悩みも尽きません。実は、人間関係の問題は、自分との関係を見つめなおすことで解決していけるのです。あたたかい手、やさしいまなざし、寄り添う言葉。

「見て護る」その手とまなざし、そして寄り添う言葉をまずは自分自身にあてて自分を大切に。そうして温まった手と心は、目の前の人にとって本当の生きる力になると信じて、自分も相手も大切にできる看護師が一人でも増えますように。そんな思いを込めて届けています。

母性看護援助論II



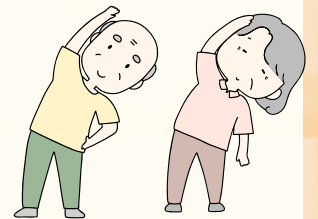
妊婦体験



妊婦体験をしました。
生んでくれたお母さんの
思いを感じ改めて感謝の
気持ちがわいてきました。

地域・在宅 看護論実習III

上尾市原市地区の「通いの場」で行われている
アップー元気体操に、本校の3年生が実習で参加
させていただいております。介護予防や健康寿命
の延伸のための地域の方々の取り組みを身近に感
じ、看護師として何ができるのか考えます。



7月の行事予定

- 7日(日) オープンキャンパス
- 13日(土) 学校説明会
- 19日(金) 地域・在宅看護演習発表会
- 20日(土) オープンキャンパス
- 30日(火) ひまわり祭

ひまわり祭は地域の
皆様のご参加を
お待ちしております